

題材	いためておいしく！			4月（8時間）
目標	野菜をおいしく調理するいため方が分かり、日常生活に生かそうとする。			
評価規準	(①知・技)材料や目的に応じた切り方やいため方が分かり、包丁やコンロを安全に使い、材料や目的に応じた切り方やいため方をすることができる。 (②思・判・表)野菜をおいしくいためるための火加減や順序を考えたり、家族の好みを基にした材料の組合せや味付けを工夫したりしている。 (③主体的態度)いため方に関心を持ち、野菜をおいしく調理しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※「記録に残す評価」
見 つ め る ・ つ か む	1	○野菜いため作りについての疑問点や調べたいことを考え課題をつかむ。 課題：「均等に火の通った歯ごたえのよい野菜いためを作るには、どのようにいためるとよいのだろう」	○均等に火の通った歯ごたえのよい状態や、そのために必要な野菜のいため方に着目できるように、複数の野菜いためを試食する機会を設定する。	◇均等に火の通った歯ごたえのよい野菜いため作りについて、疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>
	家庭 1	○家庭で野菜いためを作る際の材料や工夫について、調査する。 ○包丁を使う練習を継続して行う。 ○試しの調理計画を立てる。	○野菜をいためる火加減や時間について確かめる方法を考えられるように、子どもたちが家庭で調査した内容を整理した表を提示する。	◇野菜をいためる火加減や時間について確かめる方法を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
追 究 す る	1	○試しの調理Ⅰをする。	○均等に火が通った野菜いためを作るための適切な火加減を考えられるように、自分たちの作った野菜いためと比較できる見本の野菜いためを用意する。	◇均等に火が通るように、いためるための火加減を自分なりに考えたり、試したりしている。 <学習プリント・発言②>
	1	○試しの調理Ⅱをする。	○歯ごたえのよい野菜いためを作るための時間や順序を理解できるように、時間や順序のよいため方を整理する表を用意する。	◇野菜は固いものから火にかけ、強火で短時間でいためるとよいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	2	○試しの調理で見付けたいため方を基に、野菜いため作りをする。	○包丁やコンロの扱い方、野菜のいため方など、安全で衛生的な調理技能を身に付けることができるように、見合ったり、教え合ったりするペアを編制する。	◇包丁やコンロを安全に使い、手順よく野菜いため作りをしている。 <実習①>
ま と め る ・ 広 げ る	1	○家庭での「家族のためのオリジナル野菜いため作り」の調理計画を立てる。	○家族の好みに合った野菜いための調理方法を考えられるように、材料の組合せの例や野菜の切り方をまとめた資料を提示する。	◇家族の好みを基に、材料の組合せや味付けの工夫や、野菜をおいしくいためるためのポイントを明らかにした調理方法を記述している。 <学習プリント②>
	家庭 1	○家庭での「家族のためのオリジナル野菜いため作り」をする。 ○家庭での「家族のためのオリジナル野菜いため作り」の実践や感想を話し合う。	○家族のために野菜いためを作れたことの喜びを味わったり、いためる調理をする意欲をさらに高めたりできるように、話し合う際の観点として「家庭で取り組んだことのよさ」を提示する。	◇家庭で取り組んだことのよさを基に、日常生活の中でいためる調理をしようとする意欲を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>

題材	附属小ミシン工房 - 自分だけのバッグをつくろう -		5月(8時間)
目標	物を出し入れしやすい袋の製作の仕方が分かり、ミシンを用いた直線縫いで製作をして、製作をした物を生活に生かそうとする。		
評価規準	(①知・技)入れたい物に合った袋の大きさの決め方や、ゆとりのもたせ方、ミシンの安全な取扱い方が分かり、ミシンを用いた直線縫いで袋の製作をすることができる。 (②思・判・表)布を用いた袋の製作について問いを見出し、入れたい物に合った袋の大きさやゆとり、製作に必要な布の量やミシン縫いの仕方を考え、工夫している。 (③主体的態度)生活に役立つ布を用いた物の製作に関心をもつとともに、製作をする楽しさを味わい、製作をした袋を学校や家庭で活用しようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
見 つ め る ・ つ か む	1	○布を用いた袋の製作に関わる疑問点や調べたいことを話し合い、課題をつかむ。 課題：「物を出し入れしやすく、入れたい物に合った袋をつくるには、どのようなことができればよいのだろう。」	○布を用いた袋の製作に関心をもって疑問点や調べたいことを考えられるように、物を出し入れしやすく、入れる物に合った大きさの袋を提示する。
	1	○入れたい物に合った袋の製作計画を立てる。	○入れたい物に合った袋の製作をするために必要なミシン縫いの仕方や、製作の手順について考えられるように、袋の分解標本を用意する。
追 究 す る	1	○試しの袋の製作をする。	○入れたい物に合った袋の大きさの決め方や、ゆとりのもたせ方を理解できるように、中に入れた物が透けて見える不織布とミシン縫いの代わりとするクリップを用いて入れたい物の出し入れを試行する機会を設定する。
	家庭	○必要な材料や用具を用意する。	
	1	○しるしを付けて、布を裁つ。	○布を無駄にしないようにしるしを付けて裁つことができるように、しるしを付ける際の観点「布が無駄にならない」を提示する。
	3	○ミシンで縫う。 ・しるしを付けて裁った布のわきを縫う。 ・出し入れ口を縫う。 ・ひもを縫い付ける。	○ミシンの安全な取扱い方や、直線縫いの仕方を身に付けられるように、試しの袋や布を使った直線縫いの仕方を試行した結果と、目標とする状態とを比較して評価する機会を繰り返し設定する。
ま と め る ・ 広 げ る	家庭	○製作をした袋を家庭や学校で活用したり、布を用いて他の袋の製作をしたりする。	
	1	○製作をした袋を学校や家庭で活用した感想や、布を用いて他の袋の製作をしたことについて話し合う。	○生活に役立つ布を用いた物の製作をする意欲をさらに高められるように、話し合いの観点として、「自分で製作した物を実際に活用するよさ」を提示する。
			◇布を用いた袋の製作について疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③> ◇物を出し入れしやすく、入れたい物に合った袋の製作をするために必要なミシン縫いの仕方や製作の手順について考え、計画を記述している。 <学習プリント②> ◇入れたい物に合った袋の大きさやゆとり、製作に必要な布の量を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①> ◇製作をする袋の大きさに合わせて、布を無駄にしない位置にできあがりや縫いしろのしるしを付けて、しるしに沿って布を裁っている。 <活動・布①> ◇ミシンを安全に正しく操作し、直線縫いをしている。 <活動・布①>
			◇製作した袋を学校や家庭で活用したことのよさや布を用いて他の袋の製作をしたことの感想を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>

題材	マイみそ汁をつくろう			6・8月(8時間)
目標	みそ汁や米飯をおいしく調理する方法が分かり，日常生活に生かそうとする。			
評価規準	(①知・技)おいしいみそ汁のだしのとり方や材料の切り方，みそや実の入れ方，炊飯の仕方が分かり，みそ汁のだしのとり方，味や香りを生かすみそや実の入れ方，炊飯の際の水加減や火加減などに注意して，みそ汁と米飯を作ることができる。 (②思・判・表)おいしいみそ汁と米飯の作り方について問いを見出し，家族や自分の好みを基にしたみそやだし，実の組み合わせ，米飯の硬さを考え，工夫している。 (③主体的態度)みそ汁と米飯に関心をもつとともに，おいしく調理しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※「記録に残す評価」
見・つめ か む	家庭 1	○各家庭のみそ汁について話し合い，課題をつかむ。 課題：「おいしいマイみそ汁を作れるようになるには，どのようなことができればよいのだろう」	○みそ汁の写真を提供してもらえるように，各家庭にお願いしておく。 ○みそ汁の味や材料の違いに目を向けられるように，各家庭のみそ汁についての調査結果を提示する。	◇みそ汁について関心をもち，おいしく調理するための方法や工夫を考え，記述したり，発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>
追 究 す る	1 1 1 1 2	○みそ汁の作り方，ごはんの炊き方を調べる。 ○調べたみそ汁の作り方を基に，だしの有無や種類に着目してみそ汁の試しの調理をする。 ○米が米飯になる様子を観察し，試食する。 ○安全面や衛生面に留意して，みそ汁と米飯の調理計画を立てる。 ○みそ汁と米飯の調理実習を行う。	○みそ汁の作り方やごはんの炊き方の手順，材料や分量が理解できるように，資料を用意したり，だしの下準備やとり方，米の洗い方の演示をしたりする。 ○だしによる味の違いについて実感を伴って理解できるように，グループごとにだしを選んでみそ汁を作り，飲み比べた結果を整理する表を用意する。 ○米が米飯になっていく様子について実感を伴って理解できるように，透明の鍋を用意する。 ○子どもたち同士が教え合いながら安全に実習を進められるように，調理の技能に配慮した班編制を行う。 ○調理実習で，試し作りの反省を生かせるように，分かったことや，改善した方がよい点など，子どもたちが試して見つけたポイントを掲示する。	◇みそ汁と米飯の調理手順を正しく記述している。 <学習プリント①> ◇だし入りとだしなし，異なるだしのみそ汁を比較しながら，だしによる味の違いについて，記述したり，発言したりしている。 <学習プリント・発言①> ◇おいしく米飯を炊くための水加減や火加減について，記述したり，発言したりしている。 <発言・学習プリント①> ◇これまでの学習で見つけた，おいしいみそ汁と米飯の作り方のポイントを基に，調理計画を立てている。 <学習プリント②> ◇計画に沿って，安全面や衛生面に留意し，手順よくみそ汁や米飯を調理している。 <実習①>
ま ・ と 広 め げ る	家庭 1	○実習の結果を基に，家族の好みを考えた家庭でのみそ汁と米飯作りの実践計画を立てる。 ○調理計画に沿って，家庭でみそ汁と米飯を作る。	○家族や自分の好みに合ったみそやだし，実の組み合わせに照らして，身に付けた知識や技能を生かせるように，みそ汁についての調査結果を再提示する。	◇家族や自分の好みを基に，だしや実を工夫したり，作り方のポイントを明らかにしたりして，家庭での実践計画を立てている。 <学習プリント①②③>

題材	1食分の食事を作ろう			9～10月(12時間)
目標	食品の栄養的な組合せを考えた1食分の食事の整え方が分かり、日常生活に生かそうとする。			
評価規準	(①知・技)食品の栄養的な組合せを考えた1食分の食事の整え方が分かり、身に付けた調理技能を生かして、1食分の食事を用意することができる。 (②思・判・表)3つの食品グループのそろった1食分のおかずの組合せを考えたり、工夫したりしている。 (③主体的態度)食品の栄養的な組合せに関心をもち、バランスよく食品を組み合わせた1食分の食事を整えようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※「記録に残す評価」
見・つめかるむ	1	○家庭の食事や学校の給食を振り返り、課題をつかむ。 課題:「バランスよく食品を組み合わせたお弁当を作ろう」	○バランスよく食品を組み合わせたお弁当を作ることへの問題意識をもてるように、給食の写真やおかずの組合せが異なる複数のお弁当の写真を提示する。	◇バランスのよい食品の組合せに関心をもち、作ってみたいお弁当やおかずの組合せを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>
追究する	2	○お弁当の調理計画を立てる。	○これまでの学習を生かしておかずの組合せを考えることができるように、ゆでたりいためたりする調理で作れるおかずの写真や料理名、材料、調理手順を示す資料を提示する。	◇これまでの学習を生かしておかずの組合せを考え、調理計画を記述している。 <学習プリント②>
	2	○調理計画を点検する。	○食品の栄養的な組合せを考えた1食分の食事の整え方を理解できるように、3つの食品グループが分かる資料や、栄養のバランスを点検できる学習プリントを用意する。	◇計画した材料を3つの食品グループに分け、不足しているものや多いものを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	2	○調理計画を修正する。	○3つの食品グループのそろった1食分の食事が考えられるように、不足するグループの食品を補えるおかずの資料を提示する。	◇3つの食品グループのそろった1食分の食事になるように、おかずの組合せを考え、調理計画を修正している。 <学習プリント②>
	2	○計画に従って、「作ってみよう!お弁当」の実習を行う。	○包丁やコンロの扱い方など、安全で衛生的な調理技能を身に付けることができるように、見合ったり、教え合ったりするペアを編成する。	◇計画に沿って、安全面や衛生面に留意し、手順よく調理している。 <行動①>
家庭		○できあがったお弁当を家に持ち帰り、家族に試食をした感想やアドバイスをもらう。		
まとめる・広げる	2	○家族からのアドバイスを基に、調理実習を振り返り、家庭で作る1食分の食事の調理計画を立てる。	○1食分の調理計画に家族からのアドバイスを生かせるように、実習の成果と課題を整理できる表を提示する。	◇家族からのアドバイスを基に、バランスのよい食品の組合せを工夫して、調理計画を記述している。 <学習プリント②>
	家庭	○調理計画を基に、家庭で1食分の食事を作る。		
	1	○家庭での実践を報告し合う。	○身に付けた知識や技能を生かして調理することの喜びを味わったり、家庭実践する意欲をさらに高めたりできるように、報告し合う際の観点として、「家庭で取り組んだことのよさ」を提示する。	◇家庭で取り組んだことのよさを基に、家族のために用意した1食分の食事の調理についての感想を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>

題材	生活を見直そうⅡ ～金銭の使い方と買い物～		10・11月(4時間)
目標	家庭生活における購入の仕方の問題点を見付け、金銭を有効に使ったり、適切に品物を選んだりする方法が分かり、自分の金銭や物の使い方を見直していこうとする。		
評価規準	(①知・技)金銭の有効な使い方や、購入しようとする商品の品質や内容量、価格などの情報の集め方が分かり、自分で使う物の目的や予算に合わせて、商品を適切に選択したり、購入計画を立てたりすることができる。 (②思・判・表)購入の仕方を見直し、金銭の有効な使い方、予算にあった購入計画を考えたり、工夫したりしている。 (③主体的態度)購入の仕方に関心をもち、金銭の使い方や品物の選び方を見直している。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
見・つめ か る む	家庭	○自分が持っている文房具の種類や数について調べる。 ○文房具についての調査結果や食物の買い物経験を基に話し合い、課題をつかむ。 課題：「物やお金の使い方について考え、生活を見直していこう」	○金銭や物の使い方についての問題意識をもてるように、値段や数の異なるノートや鉛筆などの文房具を複数用意する。
	追 究 す る	○模擬買い物をする。 ○修学旅行のお土産購入計画を立てる。 修学旅行 ○購入計画を参考に、お土産を購入する。	○模擬買い物をする上で、商品に関する情報を根拠にできるように、価格や量、産地や賞味期限などの異なる商品を用意する。 ○自分の好みや予算に合わせた購入計画を立てられるように、子どもたちが購入することの多い商品のお土産リストを提示する。
ま と 広 め げ る	1	○修学旅行での買い物を振り返る。	○修学旅行での金銭の使い方を基に、よりよい実践について考えられるように、修学旅行で購入したお土産や使った金額を整理した表を提示する。
		評価項目<評価方法(観点)>※「記録に残す評価」	
		◇金銭や物の使い方に関心をもち、複数ある文房具の中で自分ならどれを購入するかを決定し、その理由を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>	
		◇購入する商品を決定するための情報を得た方法を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>	
		◇自分の予算や目的にあったお土産の購入計画を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>	
		◇金銭のより有効な使い方を考え、記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>	

題材	寒い季節を快適に過ごそう		1月(4時間)
目標	冬の気候に合わせた快適な住まい方や日常着の着方を探り、暖かい過ごし方の工夫を生活に生かそうとする。		
評価 規準	(①知・技)暖かい住まい方や日常着の着方が分かり、熱を逃がしにくくする方法や、太陽の熱を上手に利用する方法について調べたり試したりしている。 (②思・判・表)暖かい住まい方や日常着の着方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 (③主体的態度)暖かい住まい方や日常着の着方に関心を持ち、暖かい住まい方や日常着の着方を実践しようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
見 ・つ つめ かる む	1	○住まいの働きや暖かい住まい方、日常着の着方について話し合い、課題をつかむ。 課題：「寒い季節を暖かく過ごす工夫について調べよう」	○寒い季節を暖かく過ごすことへの問題意識をもてるように、冬場の気温を示す資料や、寒い地域の住まいの様子など、暖かく過ごすための工夫が分かる資料を提示する。
追 究 す る	家庭 1 1 家庭	○家庭における暖かい住まい方や日常着の着方の工夫について調べる。 ○暖かい住まい方や日常着の着方について調べたことを試したり、比較したりする。 ○「我が家のお試しウォームビズ」の実践計画を立てる。 ○計画に従って、「我が家のお試しウォームビズ」を実践する。	○熱を逃がしにくくする方法や、太陽の熱を上手に利用する方法を理解できるように、試した結果を整理できる表を用意する。 ○他の班が試したり、比較したりした暖かい住まい方や日常着の着方の結果を理解できるように、各班が結果を整理した表を提示する。
ま ・と 広 め げ る	1	○家庭での実践を報告し合い、暖かい住まい方や日常着の着方のよりよい実践について考える。	○家庭での実践を基に、寒い季節を暖かく過ごす工夫について考えられるように、家庭で実践した結果を整理した表を提示する。
			◇暖かい住まい方や日常着の着方に関心を持ち、暖かく過ごすためにしていることや、試してみたいことを記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言①②③＞
			◇熱を逃がしにくくする方法や、太陽の熱を上手に利用する方法を記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言①＞
			◇家庭でできる熱を逃がしにくくする方法や、太陽の熱を上手に利用する方法を計画し、それぞれの方法を記述したり、説明している。 ＜学習プリント・発言①＞
			◇暖かく過ごすために自分にできるよりよい方法を記述したり、発言したりしている。 ＜学習プリント・発言①②③＞

題材	家族への贈り物を作ろう		12月～2月(8時間)
目標	これまでに身に付けた技能を生かし、家族への贈り物を製作し、家族に感謝の気持ちを伝えたり、完成の喜びを共に味わったりする。		
評価規準	(①知・技)製作に必要な材料や用具の取扱い方、製作の手順が分かり、これまでに身に付けた手縫いやミシン縫いの技能を用いて贈り物を製作することができる。 (②思・判・表)既習の知識や技能を用いて製作可能な物やその製作計画、使う人のことを考えた大きさやデザインを考えたり工夫したりしている。 (③主体的態度)身に付けた技能を生かし製作する喜びを味わうと共に、家族に感謝の気持ちを伝えようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
見・つ・め・か・る・む	1	○自分ができるようになったことを振り返ったり、今まで自分を育ててくれた家族への感謝の気持ちを話し合ったりして、課題をつかむ。 課題：「家族に感謝の気持ちを伝えるために、贈り物を作ろう。」	○自分の成長を支えてくれた家族への感謝の気持ちに気付けるように、入学から卒業までの間の家族の気持ちを想像できる行事の写真を提示する。
	家庭	○家族の生活に役立つような物を家族に聞いたり、日常生活を観察して考えたりする。	
追・究・す・る	1	○家族への贈り物を考える。	○既習内容を用いて製作可能な家族への贈り物を考えられるように、三つ折りをし縫う見本や中表にして縫う見本を用意する。
	1	○贈り物の大きさやデザインを決定し、製作計画を立てる。	○製作するための手順について考えられるように、見本で用意した作品ごとに、製作する大まかな活動の流れを提示する。
	家庭	○必要な材料や用具を用意する。	
	4	○計画に沿って、製作する。 ・しるしを付け、布を裁断する。 ・しるしに沿ってミシンで縫う。 ・アイロンをかけ、できあがりを確認する。 ・贈り物を包み、贈る準備をする。	○各自が計画に沿って家族への贈り物の製作を進めていくことができるように、同じ物を製作している友達と、製作の進み具合を確かめる機会を設定する。 ○用具の安全な取扱い方や、手縫いの仕方、ミシン縫いの仕方など、自分が必要とする方法や手順を理解できるように、用具の取扱い方が分かる資料や、縫い方が分かる映像資料を用意する。
ま・と・広・め・げ・る	家庭	○贈り物に対して、家族からメッセージをもらう。	
	1	○家族への贈り物や、家族からもらったメッセージについて話し合う。	○家族に感謝される物を製作できた喜びを味わったり、布を用いた生活に役立つ物を製作する意欲をさらに高めたりできるように、話し合う際の観点として、「家族へ贈り物をしたよさ」を提示する。
			◇自分の成長と家族の気持ちに関心を持ち、家族に対する感謝の気持ちを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>
			◇既習内容を用いて製作できる家族への贈り物を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
			◇製作する贈り物の大きさやデザイン、製作の手順について考え、計画を記述している。 <学習プリント②>
			◇各自の計画に沿って、しるしを付けて裁断し、ミシンの直線縫いで縫っている。 <製作①>
			◇製作に必要な材料や用具を適切に取扱い、贈り物を製作している。 <活動・発言①>
			◇家族へ贈り物をしたよさを基に、家族に贈り物をしたり、メッセージをもらったりした感想を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①②③>